

## 小学校教師を対象とした海運関連の施設見学会・講演会を東京・博多で実施

当協会は、海運について理解いただくための様々な広報活動を行っているが、とりわけ、教師・児童向けの広報活動は地道に継続していく必要があり、この一環として、小学校の教師で構成される社会科研究会（副教材の作成等を行っている会）の教師を対象に、関連団体等とも連携し、海運関連施設の見学会等を実施している。

本年度は、昨年度に引き続き、7・8月の夏休み期間に東京と博多にて実施し、東京は31名、博多は29名の教師が参加した。

当協会は、いずれの会場においても、海運の重要性や船員（海技者）という職業の魅力等についての説明を行い、参加した教師からは、普段見学できない施設が見られ勉強になった、これまでは授業において海運に触れる機会が少なかったがこれを機に検討したい、海運業界はもっと分かりやすい広報を行うべき、などの意見が寄せられた。

当協会は、教師からの意見等も踏まえつつ、今後も活動を続けていきたいと考えている。それぞれのプログラム等は以下の通り。

### 東京：2010年7月21日（水）

当協会と石油連盟が共催で、東京都小学校社会科研究会の教師を対象に実施

- ① 極東石油工業（千葉）の石油精製工場見学および同社から石油精製についての講演
- ② 船の科学館（東京）の見学および当協会から海運についての講演
- ③ 水上バスで東京港のコンテナターミナル等を見学

### 博多：2010年8月19日（木）

当協会が、国土交通省九州運輸局および九州地方海運組合連合会ならびに博多港振興協会の協力を得て、福岡市小学校社会科研究会の教師を対象に実施

- ① バスの車中から博多港工業団地を見学（ボランティアポートガイドによる説明）
- ② 博多港ふ頭の香椎コンテナターミナルを見学
- ③ 博多港ベイサイドミュージアムで、当協会および九州運輸局から海運等についての講演
- ④ 水上バスおよび博多ポートタワーより博多港の関係施設等を見学



[東京地区]海運についての講演（船の科学館）



[東京地区]石油精製工場の見学



[博多地区]九州運輸局の講演



[博多地区]水上バスから博多港関連施設を見学